



# 宇津木台 森遊会 「定例活動」

## 第8回 実施報告

No.2011-08

実施日	2012年1月15日(日) 10:00~15:30	天候：うす曇り	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：8名(男性7、女性1) 原田、諸岡、曾根、北澤、鈴木(健)、鈴木(響)、衣川、平家 インストラクター：金森		

### 実施内容

初年度全10回活動の第8回目。オリンパス技術開発センター宇津木従業員玄関に10時に集合。初参加の平家さんのみ早めの集合で持ち物などのオリエンテーションを行う。

巣箱づくりと設置、竹林整備の総仕上げを予定。寒さが厳しく、昼食の場所を「日当りの良い芝生か屋内の会議室か緑地内か」迷うところだが、その時点で臨機応変に対応することとする。

巣箱について、樹洞する野鳥の割合と種類、巣箱のメリット・デメリット、設置の必要性、設置の条件や方法、モニタリングとメンテナンスについて20分程講義を行う。

巣箱の組み立ては6セットを9名にて40分間で完成させた。釘が出ないように、隙間ができないように慎重に作業する。最後に、バーナーで焼き板状にして完成すると“おおお”という歓声があがった。

緑地の開けた場所を選んで5個を設置する。整備が進んだ竹林にも1個設置する。

昼食は緑地内で、整備して陽が入りそれほど寒くはないが、温かいコーンスープが好評だった。

竹林に移動し、伐採によって発生した筒の部分は斜面の土留めとして敷き詰める。大量の枝の部分は隣地との境のバリケードとして綺麗に積んでゆく。アオキや枯れた大木などの雑木は5箇所に纏めて積んで昆虫のすみかとする。景観を重視し、全く燃やさないことで炭素を固定することとした。

すっかり綺麗になった整備の質は今後の活動でのスタンダードとなる。記念撮影をして終了。



巣箱の組み立て



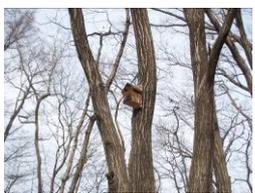
バーナーで焼き目をつける



巣箱を持って記念撮影



脚立を使って設置中



自然に同化している感じ



竹筒を斜面に敷き詰める



放置竹林が生まれ変わった



仕上げが終わって記念撮影

### 連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大2を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は、2月26日、武本講師(神奈川県森林インストラクター)を招いて野鳥観察を予定。